

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公表番号】特表2010-539315(P2010-539315A)

【公表日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-525357(P2010-525357)

【国際特許分類】

C 0 9 B 57/00 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 B 57/00 C S P Z

C 0 7 D 471/04 1 0 2

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年10月29日(2014.10.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

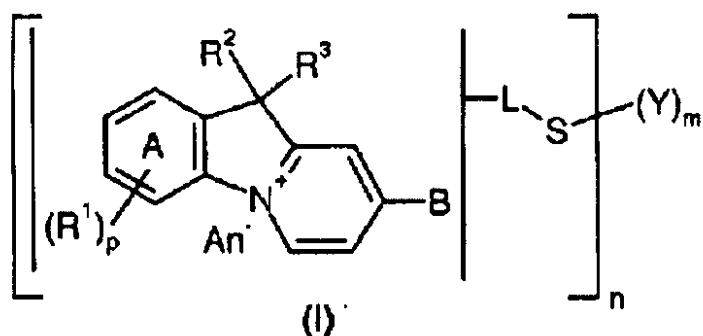
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



[式中、

- mは、0を表し；

- nは、2を表し；

- pは、0乃至4の整数を表し；

- R¹は、ハロゲン原子、任意に置換された(C₁-C₆)アルキル基、または(C₁-C₆)アルコキシ、(C₁-C₆)アルキルチオ、ジ(C₁-C₆)(アルキル)アミノ、(C₁-C₆)ポリハロアルキル、ヒドロキシル、(C₁-C₆)ポリヒドロキシアルキル、ポリヒドロキシ(C₁-C₆)アルコキシ、ニトロ、シアノ、R-G-C(G')-、R-C(G')-G-、R'S(O)₂-N(R)-、またはRR'N-S(O)₂-基を表し(ここで、GまたはG'は、同一であっても相違しても良く、酸素原子または硫黄原子またはNR'基を表し、さらに、R及びR'は、同一であっても相違しても良く、水素原子または(C₁-C₆)アルキル基を表す)；

- R²及びR³は、同一であっても相違しても良く、任意に置換された(C₁-C₆)アルキル基を表し；

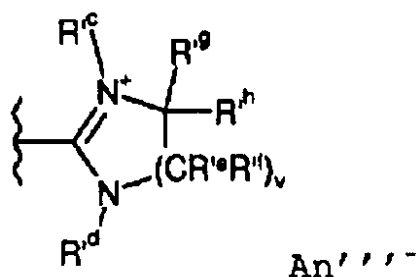
- Bは、任意に置換されたヘテロアリール基を表し；

- Lは、 $-N(R_a)-$ ； $-N^+(R_a)(R_b)-$ ； An^- ； $-NHCO-$ ； $-NHSO_2-$ （ここで、 R_a 及び R_b は、同一であっても相違しても良く、水素、及び、 (C_1-C_6) アルキル、ヒドロキシ (C_1-C_6) アルキル、または $(ジ)(C_1-C_6)(アルキル)アミノ(C_1-C_6)アルキル$ 基から選択され、 An^- は、アニオン性カウンターイオンを表す）から選択される1つの二価の基で、その一端または他端において、任意に置換、任意に中断、及び/または任意に終端された、二価の C_1-C_{20} 炭化水素ベースの鎖であって；

Yは、i)水素原子；ii)アルカリ金属；iii)アルカリ土類金属；iv)アンモニウム基： $NR^+R^+R^+R^+$ ， An'^{---} 、またはホスホニウム基： $P^+R^+R^+R^+$ ， An'^{---} （ここで、 R^+ 、 R^+ 、及び R^+ は、同一であっても相違しても良く、水素原子、または (C_1-C_4) アルキル基を表し、 An'^{---} はアニオン性カウンターイオンである）；あるいはv)以下の基；

- (C_1-C_4) アルキルカルボニル；
- (C_1-C_4) アルキルチオカルボニル；
- (C_1-C_4) アルコキシカルボニル；
- (C_1-C_4) アルコキシチオカルボニル；
- (C_1-C_4) アルキルチオチオカルボニル；
- $(ジ)(C_1-C_4)(アルキル)アミノカルボニル$ ；
- $(ジ)(C_1-C_4)(アルキル)アミノチオカルボニル$ ；
- アリールカルボニル；
- アリールオキシカルボニル；
- アリール (C_1-C_4) アルコキシカルボニル；
- $(ジ)(C_1-C_4)(アルキル)アミノカルボニル$ ；
- $(C_1-C_4)(アルキル)アリールアミノカルボニル$ ；
- カルボキシル；
- 任意に置換されたアリール；
- 任意に置換されたヘテロアリール；
- 任意にカチオン性の、任意に置換された複素環アルキル、
- 下記の基：

【化2】



[式中、

R^c 、 R^d 、 R^e 、 R^f 、 R^g 、及び R^h は、同一であっても相違しても良く、水素原子、または (C_1-C_4) アルキル基を表すか、あるいは、二つの基 R^g と R^h とが、及び/または R^e と R^f とが、オキソ基またはチオキソ基を形成するか、あるいは、 R^g と R^e とが共にシクロアルキルを形成し； v は、1乃至3の整数を表し； An'^{---} は、アニオン性カウンターイオンを表し；

- イソチオウロニウム；

- $-C(NR^cR^d)=N^+R^eR^f$ ； An'^{---} （ここで、 R^c 、 R^d 、 R^e 、及び R^f は、同一であっても相違しても良く、水素原子、または (C_1-C_4) アルキル基を表し、 An'^{---} はアニオン性カウンターイオンを表す）；

- イソチオウレア；

- $-C(NR^cR^d)=NR^e$ （ここで、 R^c 、 R^d 、及び R^e は、以上に定義される通りで

ある) ;

- 任意に置換された(ジ)アリール(C₁-C₄)アルキル ;
- 任意に置換された(ジ)ヘテロアリール(C₁-C₄)アルキル ;
- -CR¹R²R³ (ここで、R¹、R²、及びR³は、同一であっても相違しても良く、ハロゲン

原子または以下:

- (C₁-C₄)アルキル ;
- (C₁-C₄)アルコキシ ;
- 任意に置換されたアリール ;
- 任意に置換されたヘテロアリール ;
- P(Z¹)R^{'1}R^{'2}R^{'3} (ここで、R^{'1}及びR^{'2}は、同一であっても相違しても良く、ヒドロキシル、(C₁-C₄)アルコキシ、またはアルキル基を表し、R^{'3}は、ヒドロキシルまたは(C₁-C₄)アルコキシ基を表し、Z¹は、酸素原子または硫黄原子を表す) ;
- 立体障害をもつ環基 ; 並びに
- 任意に置換されたアルコキシアルキル

から選択される基を表す]

から選択される保護基を有するチオール官能保護基を表し、

- An⁻は、アニオン性カウンターイオンを表す]

の蛍光染料、その有機もしくは鉱酸の塩、光学異性体、及び幾何異性体、並びに溶媒和物。

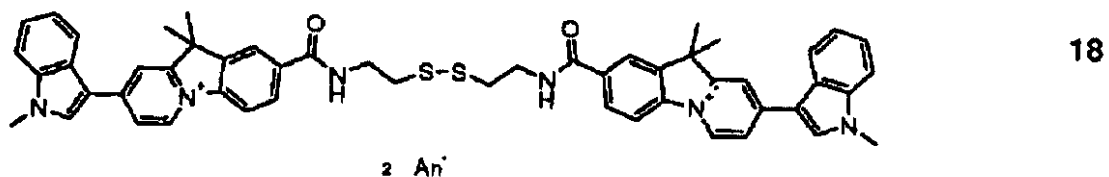
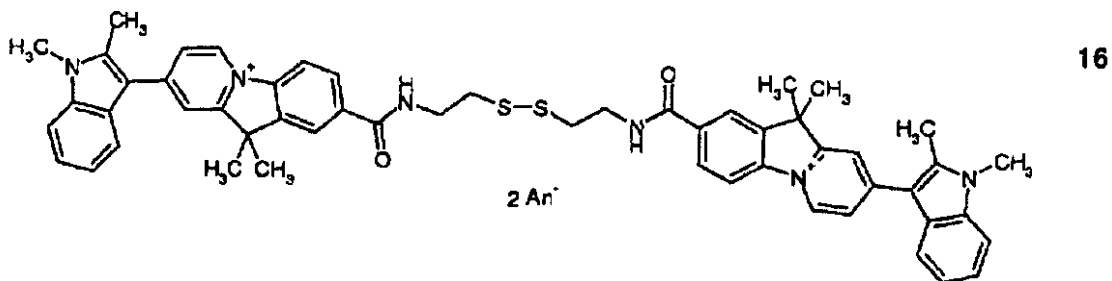
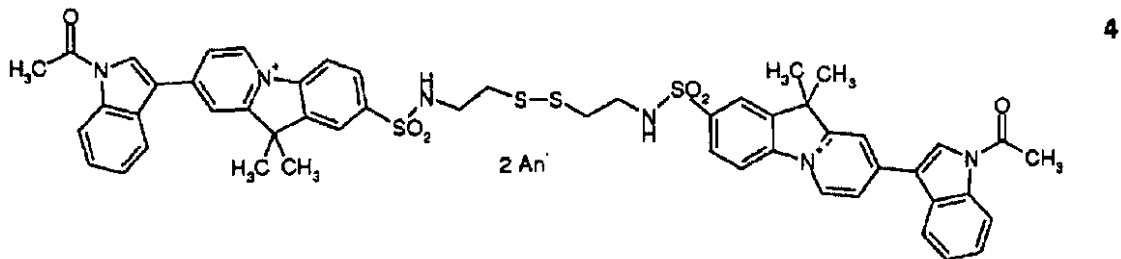
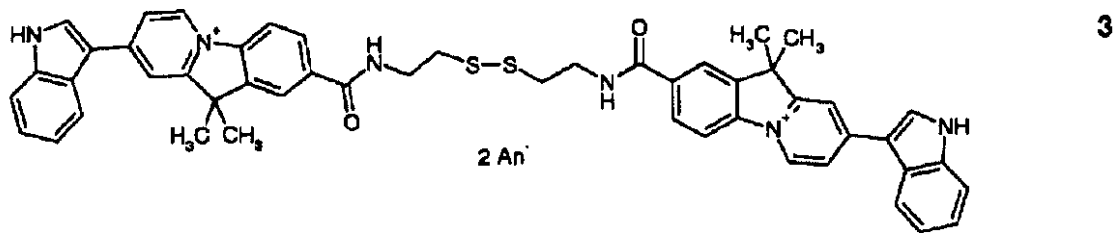
【請求項 2】

R²及びR³は、同一であっても相違しても良く、C₁-C₃アルキル基を表す、請求項 1 に記載の式(1)の染料。

【請求項 3】

下記の染料:

【化 3】



[ここで、An⁻は、同一であっても相違しても良く、アニオン性カウンターイオンを表す]より選択される、請求項 1 または 2 に記載の式(1)の蛍光染料。

【請求項 4】

適切な化粧品媒質中に、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に定義される式(1)の蛍光染料を含む、染料組成物。

【請求項 5】

適当な化粧品媒質中に、

- 請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に定義される式(1)の少なくとも1つの蛍光染料；及び
- 少なくとも1つの還元剤

を含む、請求項 4 に記載の染料組成物。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 に定義される式(1)の少なくとも1つの蛍光染料を含む適切な染料組成物が、ケラチン物質に適用される、前記物質の染色方法。

【請求項 7】

ケラチン物質が、6以下のトーンを有する濃色ケラチン物質である、請求項 6 に記載のケラチン物質の染色方法。

【請求項 8】

第一区画に、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に定義される式(1)の蛍光染料を含む染料組成物を収容し、第二区画に還元剤を収容する、多区画デバイス。

【請求項 9】

6未満のトーンを有する、濃色のヒトのケラチン繊維を染色するための、請求項 1 乃至 3 に定義される、式(1)の蛍光染料の使用。

【請求項 10】

6未満のトーンを有する、濃色のヒトのケラチン繊維を明色化するための、請求項 9 に定義される、式(1)の蛍光染料の使用。